

防災教育を軸とした減災プランの推進

～神戸学院大学 学際教育機構 防災・社会貢献ユニット～

<取組み概要>

神戸学院大学は、阪神・淡路大震災の震源地に最も近い大学として、ボランティア文化の構築や地域との協働事業に積極的に取り組んできました。学際教育機構 防災・社会貢献ユニットは、2006年4月より、神戸という地域性から防災と社会貢献の専門性を備えた人材育成プログラムとしてスタートしました。地域防災教育の主な取り組みをご紹介します。

●●●●● 地域防災教育の主な取り組み ●●●●●

防災の取り組みは、その土地の地域性と深く結びついています。また、対象年齢を問わず「自分を守り、周りのひとを守る」ことが効果的な減災につながります。そのためにはひとりでも多くの方が防災について学ぶことが重要です。

出前授業

多くの人に防災の大切さを知ってもらうため、学校や地域で大学生が防災の出前授業を行っています。防災の知識や技術を他の人に伝えることで学びも深まっています。



学生がぼうさいレンジャーに扮して、地震・津波・火事から身を守ることを教える。県外からも出演要請がある。



作成した防災教育教材を使っでの出前授業。楽しく学び、こどもたちが家族に伝える。



インストラクターとして応急手当やAED使用方法を教える。質問にも答えられるように準備する。

教材作成

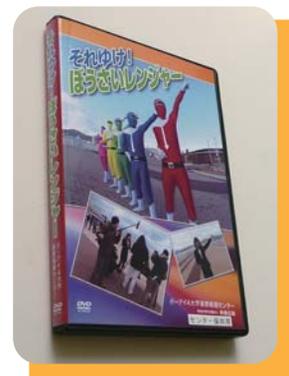
実習やゼミの授業を中心に、さまざまな教材を開発しています。活用されやすいように、学習指導要領や授業時間に沿うよう、工夫されています。



非常持ち出し袋の中身を考えるカード教材。家族の特徴によって必要な中身も変わる。



小学校5年生を対象とした9教科の防災教育教材【内閣府 防災教育チャレンジプランに採択】



CGも活用したぼうさいレンジャーのDVD。出前授業では、上映後学生レンジャー登場も。

ボランティア活動

東日本大震災が発生したときには、いち早くボランティアを希望しました。日常の活動が大きな力になっています。



東日本大震災被災地での泥かき作業。時の経過とともに傾聴や交流活動が中心になってきた。神戸学院大学のボランティア活動においてリーダーとして活躍した。



2009年台風風水害に遭った兵庫県佐用町での足湯活動



災害時の医療専門チーム（DMAT）の研修に運営補助スタッフとして積極的に参加

防災教育を軸とした減災プランの推進

～神戸学院大学 学際教育機構 防災・社会貢献ユニット～

●●●●● 学際教育機構 防災・社会貢献ユニットの教育プログラム ●●●●●

平成 17 年度 文部科学省 現代的教育ニーズ取組支援プログラム採択「防災を軸とした地域との相互教育プログラム」

学部横断的な学びを提供する学際教育機構、そしてフィールドワークや専門機関との連携など特徴ある教育カリキュラムを実施する防災・社会貢献ユニットは、防災分野の専門家や企業や地域の危機管理分野において活躍する人を育てます。



人材育成コンセプト

幅広い教育と柔軟な対応力を持ち、防災や社会貢献(ボランティア・国際協力)に役立とうとする熱意を持った人材。

具体的には

- ① 行政 / 防災担当や防犯担当・社会教育・国際協力の分野で能力を発揮できる人材。
- ② 消防・警察 / 一際高い危機管理に対する基本的な知識や意識を備え、最前線で活躍する人材。
- ③ 企業 / 民間企業等において、民間防災や防犯に携われる知識と能力をもった人材。
- ④ NPO・NGO / NPO・NGO で、リーダーやコーディネーターとして活躍できる能力をもった人材。



フィールドワーク

写真は四川大地震の被災地を訪れ、ボランティアをしている学生。帰国後、学内はもちろん、他大学においても報告会を開催した。

正課カリキュラムもフィールドワーク重視で、連携先の専門機関を訪れる実習や、ボランティア活動の実習も多い。

座学に加え、体験によって多くを学びながら違う世代の人との交流機会を得ている。

防災は、どの学問領域とも関わりがある。学部や学科の違う学生同士が、安全で安心な社会について語りあうことで、同じ思いを持つ人とながっている。

今年卒業したユニット生は第 5 期生、卒業生が防災・社会貢献分野で活躍し、教員とや後輩と一緒に研究や活動をすることも増えてきた。



専門機関との連携

<連携講座>

- 救命処置実習 (神戸市消防局)
- 社会貢献論 I (CODE)
- 阪神淡路大震災研究 I・II (神戸市役所)
- 防災論 (人と防災未来センター)
- 災害情報論 (読売新聞、読売 TV、ラジオ関西)
- 社会貢献論 II (JICA 関西)

防災・社会貢献ユニットの教員と連携先の実務家は研究会を開催しており、新しい情報がすぐに授業に反映される。

「現代社会学部 防災・社会貢献学科」 2014 年 4 月設置構想中

防災教育を軸とした減災プランの推進

～神戸学院大学 学際教育機構 防災・社会貢献ユニット～

連携と協働の力

防災教育プログラムは、地域の大学連携（ポアイ4大学連携事業）や広域の大学連携（TKK3大学連携プロジェクト）として発展しました。

文部科学省「戦略的大学連携支援事業」

ポアイ4大学による連携事業

—安全・安心・健康のための総合プログラムを軸として—

神戸学院大学 神戸女子大学 兵庫医療大学 神戸女子短期大学

縦軸のプロジェクト連携

- 研究
- 教育
- 学生支援
- 社会貢献
- 生涯学習

ポアイ防災推進プロジェクト

ポアイ健康推進プロジェクト

ポアイ4大学による連携事業の推進

横軸のベース連携

- 入試広報
- 図書館
- 学生支援
- 教務
- キャリア支援
- 社会貢献

ポアイ4大学連携は、横軸と縦軸の2つのコンセプトから成っており、横軸は、ベースとなる「入試広報」「図書館」「学生支援」「教務」「キャリア支援」「社会貢献」の連携。縦軸は、4大学共通の課題、地域社会からの要請にそったプロジェクトを、大学の使命である「研究」「教育」「学生支援」「社会貢献」「生涯学習」の各フェーズにおいて有効に機能させるため、「ポアイ防災推進プロジェクト」と「ポアイ健康推進プロジェクト」という2種のプロジェクトとして実施しています。

学生がポートアイランドの地域安全マップを作成

平成20年度文部科学省戦略的大学連携支援事業採択

地域連携

学生消防団の放水訓練 消防出初式にて

消防署や警察署の協力を得て、総合防災訓練を実施

TKK3大学連携プロジェクト

平成21年度文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」として、東北福祉大学(T)・工学院大学(K)と神戸学院大学(K)の3大学連携プロジェクト「防災・減災・ボランティアを中心とした社会貢献教育の展開」が選定されました。本プロジェクトを通して、3大学の長所を持ち寄り、社会貢献活動を担う人材育成を目指します。プロジェクトに関する詳しい説明は、Webサイト <http://www.kobegakuin.ac.jp/~tkk/> をご覧ください。



広域連携

平成21年度文部科学省戦略的大学連携支援事業採択

第3回 防災・社会貢献ディベート大会

我が国は消防団を大幅に強化すべきである

見学無料

ディベート大会 参加チーム 募集中

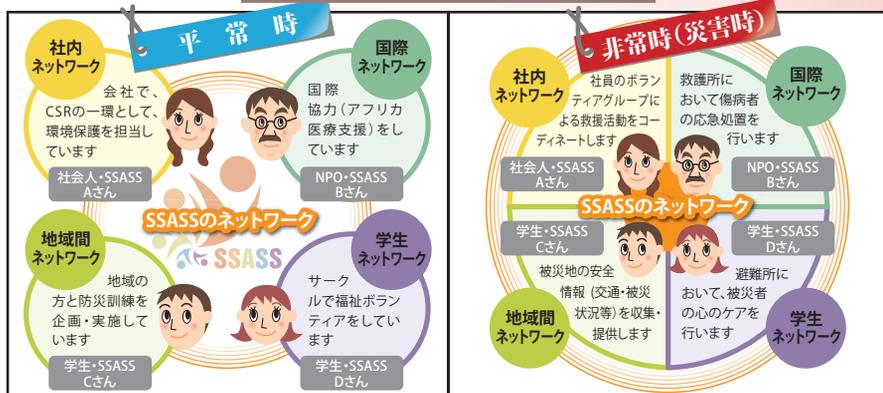
2012年2月18日(土) 9:30~18:30

神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス B号館3階



ディベート大会は知識・表現力・傾聴力を競う

社会貢献活動支援士のイメージ



平常時
それぞれの専門的知識と能力を活かしながら、それぞれの持ち場・ネットワークで活動をしている。定期的に SSASS 同士の交流(防災訓練、ネットワーク構築、情報共有等)も行う。

非常時(災害時)
それぞれの専門的知識、非常時に必要な知識、能力、ネットワーク、そして日常的に構築してきた SSASS のネットワークも活かしながら、現場をリードする。